

# 日高町地域公共交通活性化協議会

## 令和5年度第2回会議録

## 令和5年第2回日高町地域公共交通活性化協議会会議録

令和5年6月30日（金）

開会 午前 10時30分

閉会 午前 11時10分

### ○議事日程

- 1 委嘱状交付
- 2 会長あいさつ
- 3 報告第1号 地域公共交通計画策定支援業務業者選定結果
- 4 議案第1号 地域公共交通計画策定支援業務内容
- 5 議案第2号 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

### ○出席委員（13名）

深根英範	会長	伊藤幸寛	副会長
高岡昇	委員	柴田淳	委員
池添孝治	委員	加藤利行	委員
中村厚彦	委員	井溪雅晴	委員
門間俊也	委員	工藤幹彦	委員
瀧ヶ平正美	委員	木下順二	委員
駿河嘉秀	委員		

### ○欠席委員（6名）

土田作郎	委員	木村康弘	委員
奥野貴弘	委員	奥野秀人	委員
野口恵子	委員	鈴木武彦	委員

### ○出席事務局職員

事務局長	林谷昌美	主幹	長谷川大樹
主事	折尾直樹	主事	小野寺陵宏

### ○日高町関係部局

住民生活課長	子育て健康課長
高齢者福祉課長	管財建築課長
総合支所地域経済課長	教育委員会管理課長
教育委員会生涯学習課長	

○地域公共交通計画策定支援業務業者

株式会社シン技術コンサル

○オブザーバー

日高振興局地域創生部地域政策課 広 部 光 彦 様

## ◎1 委嘱状交付

副町長より人事異動により変更となった後任委員に辞令交付

福原 栄範 委員 → 井溪 雅晴 委員

細川 一夫 委員 → 木下 順二 委員

## ◎2 会長あいさつ

第2回目の日高町地域公共交通活性化協議会の開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。5月24日に開催しました第1回目の協議会におきまして、説明をさせていただいたところでございますけれども、令和5年度の事業計画の地域公共交通計画の策定につきまして、支援業務の業者が決定をいたしましたので、その実施方針・計画等につきまして、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、進めていきたいと考えておりますので、どうぞ協力のほどよろしくお願いいたします。

## ◎3 報告第1号 地域公共交通計画策定支援業務業者選定結果

・報告第1号について事務局から説明

異議なく「承認」

## ◎4 議案第1号 地域公共交通計画策定支援業務内容【別紙1】

・別紙1について策定支援業務業者のシン技術コンサルより説明

○資料の項目について補足説明

実施方針書

### 2. 地域公共交通実態調査

- (1) 住民アンケート調査 2,000人を対象とあるが、2,000世帯へアンケートを送付し、1世帯あたり最大3名までアンケート回答ができるような内容を検討している。

業務工程表

### 2. 地域公共交通実態調査

- (1) 住民アンケート 8月実施、9月取りまとめ  
(2) 町営バス乗降調査 8月実施、9月取りまとめ

### 4. 地域公共交通計画の策定

- (2) 計画に位置づける取組み及び実施主体 12月中旬協議会で計画の方向性を示す  
2月下旬協議会で素案の提示予定

○事務局より補足説明 別紙1の中の分科会について、今後住民アンケート調査や乗降調査を実施していく中で日高町として「スクールバス路線」「道南バス路線」「町営バス路線」「温泉バス路線」と多くのバス路線が走っている状況で資料1の4ページ目より公共交通の現況図を添付しています。こちらは第1回目でも説明させていただいた当町の全路線に

なりますが、可能な限り統合していく方向で現在考えております。その中で町としては、日高地区では運行していて、門別地区では運行していない循環バスを走らせることを大きな目標として、沢沿いに走っている各路線をどのような方向で運行する、又はデマンドバスではなく福祉ハイヤーのような要素を持った助成券を配布するような体系など今後検討し、免許返納制度などもある中で交通弱者への移動支援となるような「ドア to ドア」といった運行ができなかなども検討しております。そういった細かい内容につきましては各関連部署の課長、担当者と協議を重ねて進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

#### ○委員より質疑

1. 公共交通の実態調査アンケートで無作為に 2,000 人を対象に実施するとありますが、公共交通の利用者数は全町民の 1~2 割程度でアンケート回収率が低い且つ回答の信ぴょう性が低い（普段利用しない方がなくなるより存続したほうが良いと回答したり、想像のもと運行時間の希望を伝えたり）という心配がある中で、お金をかけてアンケートをするのであればコンサルさんとして回答率の向上や回答の信ぴょう性を高めるような対応策やご検討されているものはあるか。

##### →回答

アンケートについては、より良いもの、より答えやすいものを考えていて郵便ポストへ投函する手間を省くために QR コードを掲載しスマホ等で回答可能にすることで回答率を挙げていきたいと考えている。昨年度実施した日高地域のアンケートでの回答率が 2 割程度だったところを少しでも回答率を上げていくために、1つのアンケート票に対して最大3名まで回答できるようなアンケートの設計をして、回答者を増やしていく。

2. 計画を作成しても一番大事なのは、計画を作ったあとに何をするかが重要な項目であって、他は議論をするための資料でしかないと考えているが、調査をする前段階で何をするかなど何かあるか。

##### →回答

計画の出口をどのように想定しているかについて、国土交通省で DX/GX メニューが充実してきているので、具体的には KDDI が実施している「mobi」といったサービスも併せて検討していく必要があると思っているが、コストがかかるため検討をしていけたら。

事務局より補足のあった循環バスを検討したいとのことなので、アンケートの内容に加えヒアリングをしていく。現在の町営バスのデマンドバスの路線運航ではなく便利な区域運行の乗合タクシー「ドア to ドア運行」をすることで現在の 2 路線を 1 区域にするなども検討している。ただし一部の利用者にとっては路線運航をしていなくとも利用しづらいや予約がおっくうになるというのも想定している。

追加の質疑なく議案 1 号「承認」

◎議案第2号 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)【別紙2】

・別紙2について事務局より説明

異議なく「承認」